

2025年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月6日

上場会社名 株式会社キャンディル 上場取引所 東
コード番号 1446 URL <https://www.candea1.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 晃生
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 小澤口 信行 (TEL) 03-6862-1701 (代)
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年9月期第3四半期の連結業績(2024年10月1日~2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期第3四半期	10,305	5.5	316	4.7	313	5.5	98	△26.5
2024年9月期第3四半期	9,766	5.8	302	△23.6	297	△23.3	133	△33.8

(注) 包括利益 2025年9月期第3四半期 90百万円(△29.1%) 2024年9月期第3四半期 128百万円(△36.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期第3四半期	10.63	10.60
2024年9月期第3四半期	14.51	14.45

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年9月期第3四半期	5,964	2,874	48.2
2024年9月期	6,134	2,799	45.6

(参考) 自己資本 2025年9月期第3四半期 2,874百万円 2024年9月期 2,799百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	4.00	—	4.00	8.00
2025年9月期	—	0.00	—	—	—
2025年9月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年9月期の連結業績予想(2024年10月1日~2025年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,900	5.1	410	14.1	405	15.6	170	23.2	18.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年9月期3Q	10,734,200株	2024年9月期	10,734,200株
② 期末自己株式数	2025年9月期3Q	1,470,500株	2024年9月期	1,507,300株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年9月期3Q	9,244,422株	2024年9月期3Q	9,215,920株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(収益認識関係)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境・所得環境の改善やインバウンド需要の拡大を背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、人手不足の継続や原材料及びエネルギー価格の高騰、またそれに伴う人件費や物流費の増加などにより、厳しい経営環境に直面しております。家計においては、雇用・所得環境の改善の影響を受けて個人消費には持ち直しの動きが見られるものの、物価上昇の継続が消費者マインドを下押ししており、依然として先行きは不透明な状況が続いております。加えて、世界経済におきましては、米国政府の関税強化の影響が広がりを見せており、先行きの不確実性が一段と高まっております。

建設業界としては、建設資材価格や労務費の上昇、時間外労働の上限規制への対応課題に加えて、慢性的な技術労働者不足も大きな課題となっており、引き続き厳しい事業環境が続いております。

他方、当社グループ事業に関係の深い住宅業界におきましては、実質賃金は停滞し住宅価格は上昇している中で、国土交通省発表による2024年7月～2025年6月累計の新設住宅着工戸数は、戸建てが前年同期比94.6%、分譲マンションが前年同期比86.7%、住宅市場全体としては前年同期比95.2%と減少傾向で推移いたしました。商環境に関しましては、物価高騰により消費者マインドに停滞感はあるものの、インバウンド需要の拡大などにより総じて堅調に推移いたしました。

このような状況のもとで、当社グループは「世界に誇れる独創的建物サービスで社会と感動を分かち合う」という理念に基づき、「全ての建物に“キャンディル”」というビジョンを実現すべく、持続的な事業の成長とさらなる企業価値の向上を目指して、激しく移り変わるお客様のニーズや時代の変化に寄り添いながらサービスの拡充に取り組み、住宅関連・商業施設関連サービスの売上拡大に努めてまいりました。

物価の上昇や人材獲得競争の激化などの厳しい経営環境の中、当社グループは受注単価の上昇に努めたこと、また採用活動の強化や協力会社網の充実による労働力確保を図り、着実に市場の需要を取り込んだことにより、全てのサービスが堅調に推移し、第3四半期連結累計期間としては過去最高の売上高を更新いたしました。また、人的投資やシステム投資などの成長投資により販管費は増加いたしました。売上高の伸長により、売上総利益・営業利益・経常利益は増加いたしました。投資有価証券評価損を特別損失として計上したことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は減少いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は10,305,337千円（前年同期比105.5%）、営業利益は316,906千円（前年同期比104.7%）、経常利益は313,234千円（前年同期比105.5%）、法人税等調整額を27,069千円計上したため、親会社株主に帰属する四半期純利益は98,281千円（前年同期比73.5%）となりました。なお、当社グループでは過去の組織再編及びM&Aの実施に伴い発生したのれん償却費を販売費及び一般管理費に144,167千円計上しており、これを加えたのれん償却前経常利益は457,402千円（前年同期比103.7%）、のれん償却前親会社株主に帰属する四半期純利益は242,449千円（前年同期比87.3%）となりました。

当社グループは、建築サービス関連事業の単一セグメントとしておりますが、サービス区分別の状況は以下のとおりであります。

① リペアサービス

当第3四半期連結累計期間におけるリペアサービスの連結売上高は3,405,553千円（前年同期比102.3%）となりました。

戸建向けリペアの売上高は、6～9ヶ月前の時期の新設住宅着工戸数（主に住宅引渡し直前に提供するサービスであり、戸建住宅の着工から竣工までの平均期間を考慮）が減少している影響を受け、前年同期比で受注件数は減少したものの、受注単価が上昇したため、2,688,275千円（前年同期比102.5%）と前年同期並みで推移いたしました。集合住宅向けリペアの売上高は、延べ人工数が減少したものの生産性が向上したことなどにより、717,278千円（前年同期比101.4%）となりました。

② 住環境向け建築サービス

当第3四半期連結累計期間における住環境向け建築サービスの連結売上高は3,091,368千円（前年同期比107.9%）となりました。

定期点検の売上高は、実施件数の増加により、1,244,558千円（前年同期比108.6%）となりました。小型修繕、各種施工、検査、コーティングの売上高は、検査の好調により、1,677,133千円（前年同期比111.4%）と伸長いたしました。リコール対応の売上高は、169,676千円（前年同期比79.6%）となりました。

③ 商環境向け建築サービス

当第3四半期連結累計期間における商環境向け建築サービスの連結売上高は3,329,276千円（前年同期比107.5%）となりました。

商環境向け建築サービスは主に商業施設等の内装工事、家具組立て、揚重を提供しておりますが、商環境市場の需要堅調による店舗・商業施設、ホテル、医療施設、オフィスなどの内装工事案件の増加により、増収となりました。

④ 商材販売

当第3四半期連結累計期間における商材販売の連結売上高は479,138千円（前年同期比101.1%）となりました。

商材販売は主にリペア材料やメンテナンス商材を販売しております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は5,964,599千円となり、前連結会計年度末に比べ169,661千円の減少となりました。

流動資産は3,697,668千円となり、前連結会計年度末に比べ21,713千円の増加となりました。これは、主に現金及び預金が168,447千円増加したこと、受取手形及び売掛金が230,324千円減少したことなどによります。

固定資産は2,266,931千円となり、前連結会計年度末に比べ191,374千円の減少となりました。これは、主にのれんが144,167千円減少したことなどによります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は3,090,306千円となり、前連結会計年度末に比べ244,336千円の減少となりました。

流動負債は2,804,006千円となり、前連結会計年度末に比べ155,036千円の減少となりました。これは、主に短期借入金が350,000千円増加したこと、1年内返済予定の長期借入金が449,184千円減少したこと、未払法人税等が94,569千円減少したことなどによります。

固定負債は286,300千円となり、前連結会計年度末に比べ89,300千円の減少となりました。これは、主に長期借入金が90,000千円減少したことなどによります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は2,874,292千円となり、前連結会計年度末に比べ74,674千円の増加となりました。これは、主に利益剰余金が61,374千円増加したこと、自己株式の処分に伴い18,620千円増加したこと、その他有価証券評価差額金が7,365千円減少したことなどによります。この結果、自己資本比率は48.2%（前連結会計年度末比2.5ポイント上昇）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結会計期間において特別損失として計上いたしました投資有価証券評価損については、四半期洗替え方式を採用しており、今後、損失計上額変動、または損失未計上となる可能性があります。

従って、現時点の連結業績予想につきましては、2024年11月14日の「2024年9月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,616,316	1,784,763
受取手形及び売掛金	1,744,684	1,514,359
商品及び製品	135,977	139,493
原材料及び貯蔵品	30,221	33,378
その他	152,849	230,845
貸倒引当金	△4,093	△5,172
流動資産合計	3,675,954	3,697,668
固定資産		
有形固定資産	54,586	76,481
無形固定資産		
のれん	1,922,237	1,778,069
その他	86,306	58,046
無形固定資産合計	2,008,543	1,836,116
投資その他の資産		
繰延税金資産	117,934	94,115
その他	279,795	262,609
貸倒引当金	△2,552	△2,390
投資その他の資産合計	395,176	354,334
固定資産合計	2,458,306	2,266,931
資産合計	6,134,261	5,964,599

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	390,582	415,637
短期借入金	500,000	850,000
1年内返済予定の長期借入金	629,184	180,000
未払法人税等	149,967	55,398
賞与引当金	190,803	141,659
未払費用	546,086	550,930
その他	552,419	610,381
流動負債合計	2,959,043	2,804,006
固定負債		
長期借入金	370,000	280,000
その他	5,600	6,300
固定負債合計	375,600	286,300
負債合計	3,334,643	3,090,306
純資産の部		
株主資本		
資本金	561,787	561,787
資本剰余金	2,282,655	2,284,700
利益剰余金	710,503	771,877
自己株式	△762,693	△744,073
株主資本合計	2,792,252	2,874,292
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,365	-
その他の包括利益累計額合計	7,365	-
純資産合計	2,799,618	2,874,292
負債純資産合計	6,134,261	5,964,599

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年10月1日 至2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年10月1日 至2025年6月30日)
売上高	9,766,484	10,305,337
売上原価	6,264,660	6,552,271
売上総利益	3,501,824	3,753,065
販売費及び一般管理費	3,199,064	3,436,158
営業利益	302,760	316,906
営業外収益		
受取利息	65	883
受取手数料	-	6,000
その他	5,625	7,491
営業外収益合計	5,690	14,374
営業外費用		
支払利息	8,565	12,482
固定資産除却損	0	486
障害者雇用納付金	2,550	4,350
その他	314	727
営業外費用合計	11,430	18,047
経常利益	297,020	313,234
特別損失		
投資有価証券評価損	-	26,356
特別損失合計	-	26,356
税金等調整前四半期純利益	297,020	286,878
法人税、住民税及び事業税	127,373	161,527
法人税等調整額	35,960	27,069
法人税等合計	163,334	188,596
四半期純利益	133,686	98,281
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	133,686	98,281

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	133,686	98,281
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,444	△7,365
その他の包括利益合計	△5,444	△7,365
四半期包括利益	128,241	90,916
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	128,241	90,916
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、建築サービス関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含みます。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	46,495千円	50,730千円
のれんの償却額	144,167 "	144,167 "

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益のうち、サービス別に分解した情報は以下のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間（自 2023年10月1日 至 2024年6月30日）

(単位：千円)

	建築サービス関連事業
サービス別	
リペアサービス	3,330,267
住環境向け建築サービス	2,865,485
商環境向け建築サービス	3,097,004
商材販売	473,727
顧客との契約から生じる収益	9,766,484
その他の収益	—
外部顧客への売上高	9,766,484

当第3四半期連結累計期間（自 2024年10月1日 至 2025年6月30日）

(単位：千円)

	建築サービス関連事業
サービス別	
リペアサービス	3,405,553
住環境向け建築サービス	3,091,368
商環境向け建築サービス	3,329,276
商材販売	479,138
顧客との契約から生じる収益	10,305,337
その他の収益	—
外部顧客への売上高	10,305,337